

国 令和三年度 入学試験問題

令和三年二月三日 実施

東京女学館中学校

(字数制限のある場合、国語解答用紙
句読点・カッコなどはすべて字数に数えます。)

問一 点。自分の不幸を相手に押しつけている

問二 エ 不幸の手紙が届いていたから

問四 エ 二人とも同じ時期に不幸の手紙が届いていたから。

問五 問六 のだ……。

問七 子供もが死んだのは自分が不幸の手紙を出さなかつたからだからだと思いき、自分で、自分を責めつづけていること。

問八 (バスの中では話せなかった)自分が不幸の手紙を出さないという決意をナツミに伝えようと思ったから。

問九 不幸の手紙を出さないと、気が持ちがマキと同じと分かり、仲良くて思ってたから。

問十 不幸の手紙を決して出さないと、強い意志

問十一 A イ B ウ C ア D エ

問一 A ア B オ C イ* D ウ *加点(×最も↑○もつとも)

問二 科学によってすべての問題が解決されるという考え方。

問三 科学には限界があるかどうかという問題。

問四 (1) なんびとも (2) だけれども 問五 客観性を持たないから

問六 (1) 個人的体験 (自己の体験)

(2) 赤とか青とかいろいろ私の感じ

自分だけにしか見えない夢や幻覚

問七 ア 問八 他と比較し、りすること

問九 私たちの体験に含まれていない、他のもの比較や客観化することののできない絶対的なもの。

問十 イ 問十一 イ

9	5	1	規模
臨む	装置	2	標語
10	6	率先	飼料
悪態	再起	7	4
	8	風潮	応えて

評点

受験番号

氏名